



平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年10月29日

上場会社名 株式会社ミスミグループ本社

上場取引所 東

コード番号 9962 URL <http://www.misumi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 大野 龍隆

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 CFO (氏名) 男澤 一郎

TEL 03-5805-7401

四半期報告書提出予定日 平成30年11月5日

配当支払開始予定日

平成30年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 (機関投資家向け資料)

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け説明会)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	166,668	9.3	15,896	15.9	15,970	14.3	11,573	11.2
30年3月期第2四半期	152,465	25.2	18,902	42.2	18,627	42.0	13,040	56.2

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 13,461百万円 (12.6%) 30年3月期第2四半期 15,406百万円 (781.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	40.84	40.71
30年3月期第2四半期	46.63	45.56

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	241,056	197,380	81.1
30年3月期	243,492	186,719	76.1

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 195,602百万円 30年3月期 185,203百万円

平成31年3月期第1四半期より「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号平成30年2月16日)の適用による表示方法の変更を行いましたため、平成30年3月期の連結財政状態は、当該変更を反映した遡及修正後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		11.52		11.08	22.60
31年3月期		10.21			
31年3月期(予想)				12.46	22.67

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	343,000	9.6	35,000	0.4	35,200	1.5	25,700	0.4	90.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	283,524,157 株	30年3月期	283,439,597 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	129,626 株	30年3月期	129,536 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	283,356,707 株	30年3月期2Q	279,653,714 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済および日本経済は、貿易摩擦への懸念から製造業の設備投資に慎重さが見られるなど、アメリカを除く各地域で景気は減速傾向となりました。中国では貿易摩擦の影響により輸出入関連が鈍化し始め、アジア、欧州でも輸出環境悪化への懸念により製造業の景況は減速しつつあります。また、日本の製造業も原材料高騰などの影響により景況は弱含みとなり、さらに足元では貿易摩擦への懸念により生産用機械、自動車関連分野で不透明感が増しています。

こうした環境においても当社グループの戦略は変わることなく、メーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしながら、これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の非効率を解消することで世界の製造業に貢献しています。今期においてもITを核とした新たなものづくりに応えるため、各国の現地ニーズに即時対応できる地域別ECサイト構築を加速するなど、競争力を強化しました。また、最適調達を目的とした現地生産・現地調達を推進するとともに国内外で物流拠点を拡張するなど、グローバル確実短納期体制の強化に努めました。

こうしたビジネスモデルの進化により顧客に対して高い利便性を提供、製造業の需要が減速傾向となる中においても、国内外でメーカー事業・流通事業それぞれで顧客数を拡大することができました。また、VONA事業の国際展開加速による売上高伸長もけん引し、計画未達ながらも対前年を上回る連結売上高を確保しました。

こうした結果、連結売上高は1,666億6千8百万円（前年同期比9.3%増）となり、半期決算としては、過去最高の売上高を更新しました。利益面につきましては、成長加速に向けた投資を前倒しで実行したことなどにより、営業利益は158億9千6百万円（前年同期比15.9%減）、経常利益は159億7千万円（前年同期比14.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は115億7千3百万円（前年同期比11.2%減）となり、半期決算として過去最高額であった前年同期に比べ減益となりました。

・報告セグメントの業績

①FA事業

FA事業は、FA部品の確実短納期ニーズがグローバルに拡大する中、ミスミモデルを着実に浸透させ、自動車やエレクトロニクス関連業界などの自動化需要を取り込んだことなどにより、売上高は560億6千8百万円（前年同期比8.4%増）、営業利益については、事業基盤強化に向けた費用増により、97億9千1百万円（前年同期比7.1%減）となりました。

②金型部品事業

金型部品事業は、アジアにおける販売活動は好調だったものの、日米の自動車関連業界の需要減などにより、売上高は384億9千4百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益については、のれん等の償却費用減少などにより、32億3千1百万円（前年同期比16.8%増）となりました。

③VONA事業

VONA事業は、ミスミブランド以外の他社製品も含めた生産設備関連部品、製造副資材、MRO（消耗品）等を販売するミスミグループの流通事業です。事業成長を支える品揃え拡大は今期も継続し、当第2四半期時点でグローバルでの取扱品目数は2,530万点に達しました。こうした取り組みや積極的な販売拡大施策の展開により、売上高は721億5百万円（前年同期比16.2%増）、営業利益については、国内および海外事業の拡大に向けた先行費用増などにより、31億1千7百万円（前年同期比46.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況に関する分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ24億3千5百万円減少し、2,410億5千6百万円となりました。この主な要因は現金及び預金が113億6千3百万円減少したこと、受取手形及び売掛金が12億2千7百万円減少したこと、商品及び製品が35億2千2百万円増加したことなどにより流動資産が77億9千9百万円減少となりました。また、有形固定資産が40億5千4百万円増加したこと、無形固定資産が9億7千7百万円増加したこと、投資有価証券等の投資その他の資産が3億3千3百万円増加したことであります。

総負債は前連結会計年度末に比べ130億9千5百万円減少し、436億7千6百万円となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金が16億4千5百万円減少したこと、未払金が59億6百万円減少したこと、未払法人税等が17億1千万円減少したこと、その他流動負債が25億5千8百万円減少したことなどにより流動負債が134億3千万円減少し、また、固定負債が3億3千4百万円増加したことであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ106億6千万円増加し、1,973億8千万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が84億3千4百万円増加したことなどにより株主資本が85億1千1百万円増加したこと、為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額が18億8千7百万円増加したことであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の76.1%から81.1%となりました。

なお、当連結会計年度より「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）の適用による表示方法の変更を行いましたため、遡及修正後の数値で前年同期比較を行っております。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ91億6千9百万円減少し、425億4千4百万円となりました。

また、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、23億6百万円の純収入となりました（前年同期は76億2千1百万円の純収入）。この主な内訳は、税金等調整前四半期純利益が159億7千万円、減価償却費が42億2千3百万円、賞与引当金の減少額が13億7千8百万円、売上債権の増加額が13億2千5百万円、たな卸資産の増加額が41億5千8百万円、仕入債務の減少額が14億8千3百万円、未払金の減少額が32億7百万円、法人税等の支払額が58億2千1百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、88億1千5百万円の純支出となりました（前年同期は12億6千4百万円の純収入）。この主な内訳は、固定資産の取得による支出が106億9千9百万円、定期預金の預入による支出が273億5千9百万円、定期預金の払戻による収入が298億9百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、31億6百万円の純支出となりました（前年同期は24億8千7百万円の純支出）。この主な内訳は、配当金の支払額が31億3千9百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の結果及び業績動向を受けて、平成30年5月10日公表の前回予想時点から、平成31年3月期通期連結業績予想を以下のとおり修正いたしました。

[平成31年3月期 通期（平成30年4月1日～平成31年3月31日）連結業績予想]

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
今回修正予想	343,000	35,000	35,200	25,700	90.69
前回発表予想	361,000	39,700	39,500	28,500	100.60

配当予想につきましては、本日公表いたしました「剰余金の配当（中間配当）の決定および期末配当予想の修正に関するお知らせ」のとおりです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	65,502	54,139
受取手形及び売掛金	67,817	66,589
商品及び製品	33,208	36,730
仕掛品	1,771	2,592
原材料及び貯蔵品	6,301	6,650
その他	5,622	5,697
貸倒引当金	△319	△295
流動資産合計	179,904	172,104
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,649	10,396
機械装置及び運搬具（純額）	12,053	13,184
土地	3,728	3,738
その他（純額）	4,282	6,448
有形固定資産合計	29,714	33,768
無形固定資産		
ソフトウェア	17,057	17,542
その他	7,529	8,022
無形固定資産合計	24,587	25,564
投資その他の資産		
投資有価証券	6	6
その他	9,467	9,806
貸倒引当金	△187	△194
投資その他の資産合計	9,285	9,618
固定資産合計	63,587	68,952
資産合計	243,492	241,056

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,524	17,879
1年内償還予定の新株予約権付社債	106	68
未払金	14,001	8,094
未払法人税等	4,494	2,783
賞与引当金	3,525	2,185
役員賞与引当金	261	31
その他	7,770	5,211
流動負債合計	49,684	36,254
固定負債		
退職給付に係る負債	4,878	5,191
その他	2,209	2,230
固定負債合計	7,087	7,421
負債合計	56,772	43,676
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,812	12,868
資本剰余金	23,201	23,222
利益剰余金	148,059	156,493
自己株式	△77	△78
株主資本合計	183,994	192,506
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,291	3,171
退職給付に係る調整累計額	△83	△75
その他の包括利益累計額合計	1,208	3,096
新株予約権	986	1,216
非支配株主持分	529	561
純資産合計	186,719	197,380
負債純資産合計	243,492	241,056

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	152,465	166,668
売上原価	87,069	95,775
売上総利益	65,396	70,892
販売費及び一般管理費	46,493	54,996
営業利益	18,902	15,896
営業外収益		
受取利息	99	118
保険返戻金	—	143
補助金収入	38	—
雑収入	144	176
営業外収益合計	282	437
営業外費用		
売上割引	41	44
為替差損	428	244
雑損失	86	74
営業外費用合計	557	363
経常利益	18,627	15,970
税金等調整前四半期純利益	18,627	15,970
法人税等	5,541	4,355
四半期純利益	13,086	11,615
非支配株主に帰属する四半期純利益	45	42
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,040	11,573

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	13,086	11,615
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,313	1,848
退職給付に係る調整額	6	7
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△9
その他の包括利益合計	2,319	1,846
四半期包括利益	15,406	13,461
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,342	13,460
非支配株主に係る四半期包括利益	63	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	18,627	15,970
減価償却費	3,387	4,223
のれん償却額	861	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	263	319
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,188	△1,378
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△112	△229
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	△19
受取利息及び受取配当金	△99	△118
支払利息	0	0
株式報酬費用	206	286
為替差損益 (△は益)	△669	93
持分法による投資損益 (△は益)	△29	△27
保険戻戻金	—	△143
売上債権の増減額 (△は増加)	△6,943	△1,325
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,310	△4,158
未収消費税等の増減額 (△は増加)	177	△255
仕入債務の増減額 (△は減少)	△260	△1,483
未払金の増減額 (△は減少)	△790	△3,207
その他の資産の増減額 (△は増加)	△485	△655
その他の負債の増減額 (△は減少)	356	△303
小計	12,373	7,589
利息及び配当金の受取額	110	205
利息の支払額	△0	△0
保険金の受取額	—	143
法人税等の還付額	95	190
法人税等の支払額	△4,956	△5,821
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,621	2,306
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△5,119	△10,699
固定資産の売却による収入	2	42
定期預金の預入による支出	△13,080	△27,359
定期預金の払戻による収入	20,203	29,809
敷金及び保証金の差入による支出	△345	△959
敷金及び保証金の回収による収入	95	295
その他	△491	55
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,264	△8,815
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	20	33
配当金の支払額	△2,507	△3,139
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,487	△3,106
現金及び現金同等物に係る換算差額	799	445
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,197	△9,169
現金及び現金同等物の期首残高	47,840	51,713
現金及び現金同等物の四半期末残高	55,038	42,544

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

重要な非資金取引の内容

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
新株予約権付社債の転換による 資本金増加額	5,084百万円	21百万円
新株予約権付社債の転換による 資本剰余金増加額	5,084百万円	21百万円
新株予約権付社債の転換による 新株予約権付社債減少額	10,169百万円	43百万円

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA事業	金型部品事業	VONA事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	51,731	38,692	62,041	152,465	—	152,465
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—
計	51,731	38,692	62,041	152,465	—	152,465
セグメント利益	10,539	2,767	5,823	19,130	△227	18,902
のれん等償却前セグメント利益※	10,539	3,938	5,823	20,301	△227	20,074

※(参考情報)

Dayton Lamina Corporation 買取にかかるのれん・その他無形固定資産の償却前営業利益

2 報告セグメントの合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	19,130
調整額	△227
四半期連結損益計算書の営業利益	18,902

当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA事業	金型部品事業	VONA事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	56,068	38,494	72,105	166,668	—	166,668
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—
計	56,068	38,494	72,105	166,668	—	166,668
セグメント利益	9,791	3,231	3,117	16,140	△243	15,896
のれん等償却前セグメント利益※	9,791	3,537	3,117	16,446	△243	16,202

※(参考情報)

Dayton Lamina Corporation 買取にかかるその他無形固定資産の償却前営業利益

2 報告セグメントの合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	16,140
調整額	△243
四半期連結損益計算書の営業利益	15,896

(補足情報)

前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1 地域に関する情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

日本	中国	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	その他	計
79,289	29,121	20,690	13,318	7,502	2,542	152,465

(注) 売上高は当社グループの本邦と本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	中国	ベトナム	アメリカ	その他	計
10,485	7,078	5,822	2,810	1,536	27,732

2 のれんに関する報告セグメント別情報

(単位:百万円)

	金型部品事業
当第2四半期 連結累計期間償却額	861
当第2四半期末残高	145

当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

1 地域に関する情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

日本	中国	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	その他	計
85,461	30,933	25,409	13,496	8,633	2,734	166,668

(注) 売上高は当社グループの本邦と本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	中国	ベトナム	アメリカ	その他	計
12,534	7,725	7,670	2,826	3,012	33,768

2 のれんに関する報告セグメント別情報

該当事項はありません。